

## ◆ 調べて発見! ◆

～調べ方の近道案内（青少年と暮らしの交流室版）No. 1 1～

2017年1月作成



# くらしのなかの税金について

わたしたちが生活をしていく上で切っても切れない「税金」。世の中にはさまざまな種類の「税」が存在し、社会を作っています。身の回りにある税金について調べることで、あなたが暮らしている社会全体を知ることが出来るかも知れません。



## 1. 税金とはなんだろう？キーワードを考える

「税金」と聞いてあなたは何を思い浮かべますか？  
思いついたキーワードをどんどん挙げていきましょう。

税金 消費税 相続税 直接税 間接税 軽減税率  
滞納 督促状 年末調整 免税店 . . .



## 2. 図書館で調べてみよう



1で思いついたキーワードをもとに、図書館に置いているさまざまな資料から調べてみよう。

### ①事典類で調べる。

言葉の意味の大きな内容を調べるには、まず事典類を開いて調べてみよう。

『総合百科事典 ポプラディア』 ポプラ社 2011  
(031/R/109)

「ぜいきん」という言葉でしらべると、税金についておおまかな説明が載っているので、そこからさまざまな関連項目を調べてみましょう。

『現代用語の基礎知識』 自由国民社 2016  
(813/7R/1) ※2階閲覧室にあります（貸出不可）。

税金についての基礎的な説明のほかに、ふるさと納税、消費税増税といった最近のトピックや税金に関する注目される言葉の紹介もあり、調べる内容に幅が出ます。



## ②青少年と暮らしの交流室にある資料で調べる。

青少年と暮らしの交流室は、おもに青少年のみなさんにおすすめする本を置いている部屋です。青少年が関心のある物事について比較的やさしい表現で説明している本が多いのが特徴です。

『ちゃんとわかる消費税』 斎藤 貴男／著 河出書房新社 2014 (345/7/71)

学校では具体的に習う機会が少ないにも関わらず誰もが知っている消費税について、ジャーナリストである著者が、なぜいま消費税を増税するのか等、若い読者向けに詳しく教えてくれます。

『社会のしくみ図鑑』 奥澤 朋美／文ほか 玉川大学出版部 2015 (304//2940)

わたしたちの毎日のくらしは、さまざまな「社会のしくみ」に支えられています。その中の一つの項目として「税金」のしくみについて、オシャレなイラスト付きで解説しています。



『マンガと図解 新くらしの税金百科 2016▷2017』

納税協会連合会／編 納税協会連合会 2016 (345//142)

前作「くらしの税金百科」の創刊が昭和61年という、歴史ある税の問題を題材にしたシリーズです。項目ごとに導入部にマンガで説明があったり、改正された税制について、発行当時の最新情報を織り込んでいたり、いろいろとわかりやすく工夫された本です。

『図解わかる税金 2016-2017年版』 芥川 靖彦／著ほか 新星出版社

2016 (345//149)

消費税や相続税の増税などで年々厳しくなる税負担、パート収入と配偶者控除の関係や医療費控除、住宅取得や株式、年金、相続・贈与の税金など、身近な税金のありとあらゆる事柄を最新情報によって解説しています。

『学校も会社も教えてくれないお金のこと』 中村 芳子／著 徳間書店 2011

(338/12/197)

ファイナンシャルプランナーの著者がお金の基礎知識として税金のしくみをはじめ、お金をうまく操縦する方法や投資などについて解説しています。

『アメリカの高校生が読んでいる税金の教科書』

山岡道男／著 浅野忠克／著 アスペクト 2010

(345//145)

もともと、米ジャンプスタート連合による学生向け経済教育の指導要領を、日本人向けにアレンジしたもので、日本の税について学ぶと同時にアメリカの税にも詳しくなる1冊で2度おいしい内容になっています。



### ③子ども図書館にある資料で調べる。

子ども図書館には、おもに小学生までの子ども向きの本を置いていますが、図やイラストを多用した調べもの学習をするための本も多く揃っており、調べもの初心者にはおすすめの場所です。

『税ってなに?』シリーズ 三木 義一/監修 かがわ出版 2014 (340/セ/)  
税の歴史から集め方、使い方のしくみなど、税に関するさまざまな事柄について、イラストと写真を多用して説明しています。

『池上彰のこれだけは知っておきたい!消費税のしくみ』シリーズ  
稲葉 茂勝/文 ポプラ社 2014 (340/イ/)

テレビの解説者でおなじみの池上彰さんが、若い人にも関わりの深い消費税についてわかりやすく解説した本です。

『小学生からの知っておきたい「お金のすべて」3 景気と税のしくみ』  
荻原 博子/監修 文溪堂 2015 (337/シ/3)

経済評論家である荻原博子さんが、現代における「お金」について、自分自身で考え、適切な行動を取るための基礎知識が身につくように教えてくれるシリーズです。3は、税金の種類、運用による収益、社会を動かすお金のしくみなどを、イラストとともに解説しています。



### ④一般閲覧室にある資料で調べる。

①、②、③で調べた内容をそれぞれの項目ごとにさらに深く調べるには、専門書も多く置いている一般閲覧室にある本で調べてみるのもいいでしょう。

『日本の税金』新版 三木 義一/著 岩波書店 2012 (345/21/13)

複雑でわかりにくい日本の税制について、何が問題でどう改革すべきなのか、税制の基礎から解説し、改革への課題を指摘した本です。

『消費税軽減税率早わかり』 金井 恵美子/著 中央経済社 2016 (345/7/75)

消費税増税に伴って導入される消費税軽減税率について、決まるまでの経緯、また現時点で決まっている内容について細かく説明しています。

『私たちはなぜ税金を納めるのか』 諸富 徹/著 新潮社 2013 (345/2/9)

市民にとって税金とは何なのか、世界の税制とそれを支えた経済思想の流れを辿り、「税」の本質を説明してくれます。

『早わかり平成28年度税制改正のすべてQ&A』

鹿志村 裕/著ほか 中央経済社 2016 (345/1/291)

税制関連資料をもとに、最新の税制改正事情について、主な特徴、内容を各税目についての専門家がQ&A方式で説明します。



### ⑤参考図書コーナーでより詳しく調べる

図書館には調べもの専門の参考図書コーナーがあります。根拠となる法律や条文そのものを調べる場合はそちらを利用してみましょう。

『税務六法 法令編』『税務六法 通達編』 日本税理士会連合会／編集  
ぎょうせい 2016 (345/1 R/107)

『改正税法の要点解説』 税務研究会／編 税務研究会出版局 2016  
(345/1 R/181)

その他にも、図書館では本以外に新聞や雑誌、オンラインデータベースといった様々な調べものに適したツールがあるのでどんどん活用してみましょう。

## 3. インターネットで調べてみよう



資料で調べる以外にインターネットのサイトで調べる方法もあります。以下のサイトでは税についてわかりやすく解説していますので参考にしてみてください。

#### ◇国税庁 税の学習コーナー

(<https://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/gakushu/index.htm>)

国税庁が制作する、税について学校での授業や家庭学習で活用できるコンテンツをあつめたサイトです。学習レベルごとに資料が分けられているのが特徴的です。

#### ◇県税のあらまし

(<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/tax.html>)

福岡県が制作する、福岡の県税に関する概要、関係施設について説明しているサイトです。県税のしおり（福岡県版）をダウンロードできるリンクも紹介しています。

#### ◇国税庁タックスアンサー

(<http://www.nta.go.jp/taxanswer/index2.htm>)

税について、項目ごとによくある質問について調べることができます。



### <調べる時の注意事項>



- ① 本に書いてあることも、インターネットの情報も正確なものとは限りません。必ず、複数の本、ウェブサイトなどで確認しましょう。
- ② 自分が調べた本は、そのタイトルや出版社、出版年を、サイトはURL、見た日などを必ず記録しておきましょう。
- ③ 青少年と暮らしの交流室には、調べもの用にインターネット情報を検索できるパソコンがあります。使用する時はカウンターでお尋ねください。